

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○			利用予定数に応じて職員の確保、配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	○			段差のないフラットな施設内で大きな危険を感じることはなく安心して支援ができる。
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDACサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月1回の職員会議を開催し、目標に対しての振り返りを行っている。また、ケース会議にて会員様の課題や支援の確認している。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等に意見を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け自己評価結果をスタッフは確認し、今の評価で満足せず、児童の成長に合わせてスタッフもどんな支援ができるか課題をもって支援にあたっている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質向上のために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な事業所研修または研修の講師にもなり受けるだけではなく人に理解してもらえるように伝えることを学んでいる。法人内児童部門の連絡を実施し課題の情報共有している。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	○			更新月にはアセスメント、モニタリング、計画を立ててケース会議にて報告・検討を実施。ケース会議で決まった支援についてご家族様と面談し目標に向けて実施をしている。
	⑩ 子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			季節を感じられるものや児童からの声をもとにプログラムの予定を立てている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			障害特性を考え個々に合うようにハードルを下げた取り組み、ハードルを上げた取り組みを実施。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			計画を立て、取り組み改善の繰り返しを実施している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等ディサービス計画を作成しているか	○			個々の課題や保護者からのニーズを確認し、計画を作成、5領域を考えて活動内容の変更等している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、送迎表と当日の利用者の支援の確認をしている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を等を共有しているか	○			送迎後にはご家族からの申し送りなど共有しケース入力もし、誰でも見れる状況で振り返りができるようにしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			当日の利用全児童の様子や状況はケース入力し、履歴をたどれるようにしている。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			ご家族、相談員と日程調整し、状況確認や変化など確認している。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインを確認し行っている。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			下校時に学校であったことなど確認し引き受けをしてくれている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアの児童の受入や引き合いがない状態。
㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			受入の際は必要に応じて情報共有する場合あり。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害者福祉サービス等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか	○		放課後等デイサービスの利用方法や活動内容の見直し等をご家族と話し合い、卒業後の生活をイメージできる様、スムーズな移行ができる様、他事業所と協力して支援を行う。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		石川県主催の「発達障害支援アドバイザー派遣事業」を活用し、支援にける課題等への具体的なアドバイスをいただき参考にしながら実施している。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	近隣に児童館等がなく、交流の機会は現在のところない。現在は活動としては行っていない。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		小松市障害者自立支援協議会児童系連絡会への参加、研修への参加している。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時には学校からの引継ぎ状況ややるでの様子をお伝えしている。面談を通して、自宅での様子ややるでの様子など情報共有している。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	できたが増えるような支援に取り組んでいることを、面談時にご家庭で支援に上手くいかない、家族間でも相違あり悩んでおられる家族にはやるでの取り組みについてお伝えしている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	○		契約時に説明、受給者証の変更があった際は確認を実施している
	③1	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言を行っているか	○		保護者から相談や支援について、面談時にお聞きすることが多く自宅ややるでも統一したことが必要な時は情報共有し対応にあたっている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在法人として生活介護事業の保護者会である「友の会」は存在しているが、放課後等デイサービスとしての保護者会は存在しない。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		聞いた職員は情報共有し申し送りする体制にしている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか	○		行事予定や活動プログラムは掲示や各児童の連絡帳にいつでも確認していただけるようにしている。
	③5	個人情報に十分に注意しているか	○		ID管理のシステムを活用している
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度はむうみんにてにここにご広場を開催に伴い、ご家族や地域の方に参加していただいた。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルは策定しており、職員は周知しているが保護者には周知していない。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員間での訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確認する等、適切な対応をしているか	○			事業所内研修を通して「虐待のない支援」を意思統一している。
	④⑪	どのような場合でもやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等サービス計画に記載されているか	○			やむを得ず、身体拘束が必要ではないかという状況の児童に対してはケース会議にて支援の確認、ご家族に協力してもらいけるでは拘束をしない環境にしている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	ご家族からの指示にて対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事例集の作成はしているが、ヒヤリ・ハットしたことは申し送りにて情報共有している。